

近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
資料配布

配布日時	平成25年 6月 7日 14時00分
------	-----------------------

件名	大規模水路トンネルの本体工事に本格着工します。 ～ 「天ヶ瀬ダム再開発事業起工式」の開催 ～
----	---

概要	<p>国土交通省近畿地方整備局が、淀川水系宇治川で実施する天ヶ瀬ダム再開発事業におけるトンネル式放流設備工事が、このたび着工の運びとなりました。</p> <p>つきましては、「天ヶ瀬ダム再開発事業起工式」を下記のとおり開催いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時：平成25年6月16日（日）午前10時～11時 ● 場所：京都府宇治市^{うじかないど}宇治金井戸地先 (天ヶ瀬ダム再開発事業 トンネル式放流設備ゲート室部予定地付近) ● 主催： 国土交通省近畿地方整備局
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	<p>近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 滋賀県政記者クラブ 京都府政記者クラブ 宇治日刊記者クラブ 宇治日刊地方記者クラブ</p>
------	---

問合せ先	<p>近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 副所長 北野 正朗（内線 205） 開発工務課長 北野 頼風（内線 381） TEL 077-546-0844（代表）</p>
------	---

天ヶ瀬ダム再開発事業の概要

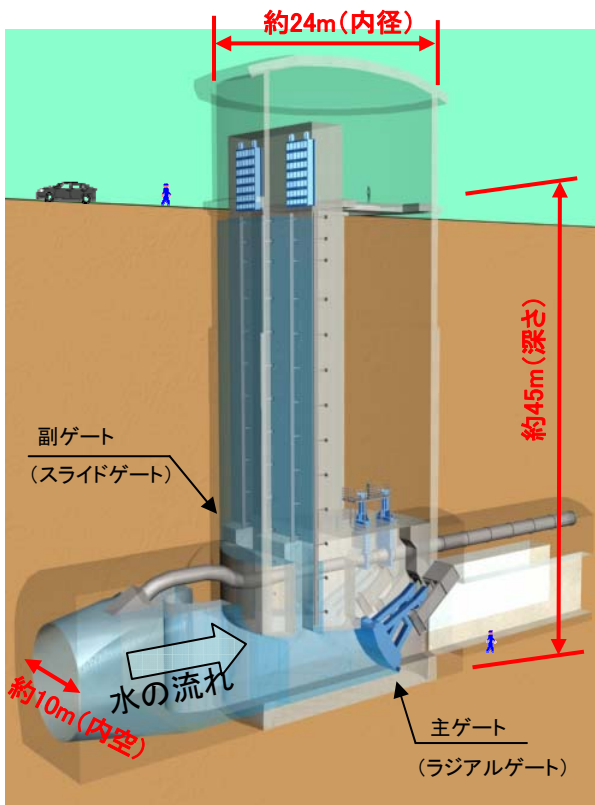
既存施設である天ヶ瀬ダムの再開発により、治水・利水の機能を増強します。

- 場所： 京都府宇治市（淀川水系宇治川）
- 目的：
 - ・宇治川・淀川の洪水調節、琵琶湖水位低下のための放流能力の確保
 - ・京都府水道用水の確保
 - ・発電能力の増強
- 諸元： トンネル式放流設備617m
計画放流量 $600\text{m}^3/\text{s}$ (EL72.0m)

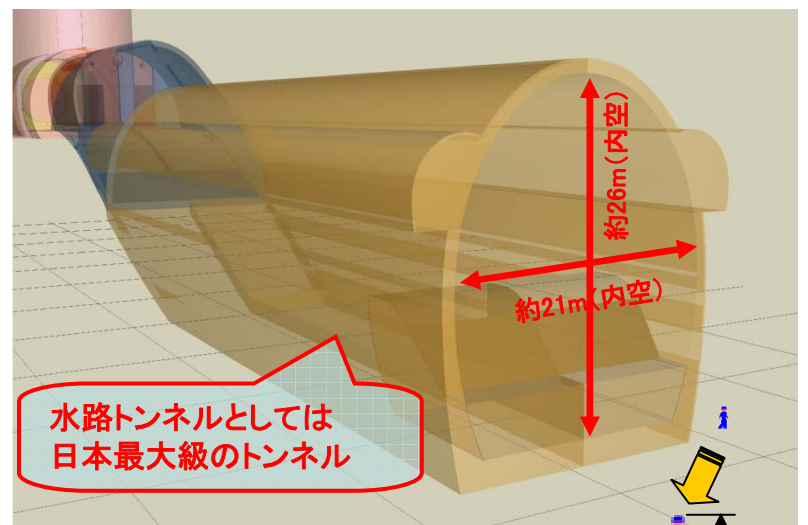
トンネル式放流設備概要図(施設配置図)



流入部のイメージ



ゲート室部のイメージ



減勢池部のイメージ

約1.7m

<天ヶ瀬ダム再開発事業経緯>

- 昭和39年： 天ヶ瀬ダム完成
- 昭和50年： 予備調査着手
- 平成元年： 建設事業着手
- 平成7年： 基本計画策定
- 平成10年： 工事用道路着手
- 平成19年： 淀川水系河川整備基本方針策定
- 平成21年： 淀川水系河川整備計画策定
- 平成23年： 基本計画一部変更
- 平成25年7月： 天ヶ瀬ダム再開発事業
トンネル式放流設備工事着工

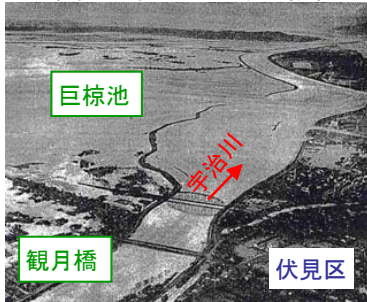
過去の洪水被害

琵琶湖周辺や宇治川では、これまで浸水被害が度々発生しています。

発生年月	起因	被害状況
昭和28年 9月	台風13号	死者（不明者含）178人、負傷者194人、全壊流失・半壊676戸 床上・床下浸水56,194戸
昭和34年 8月	前線および台風7号	死者（不明者含）23人、負傷者29人、全壊流失152戸、半壊流失115戸 床上浸水7,949戸、床下浸水44,103戸
昭和34年 9月	台風15号（伊勢湾台風）	死者（不明者含）47人、負傷者353人、全壊流失586戸、半壊流失1,312戸 床上浸水9,927戸、床下浸水27,632戸
昭和36年10月	前線および台風26号	死者（不明者含）2人、負傷者4人、全壊流失5戸 床上浸水520戸、床下浸水2,209戸
昭和40年 9月	台風24号	死者（不明者含）4人、負傷者106人、全壊流失248戸、半壊流失4,540戸、 床上浸水12,238戸、床下浸水、58,501戸
昭和57年 8月	台風10号	死者（不明者含）10人、負傷者12人、全壊流失24戸、半壊流失34戸 床上浸水5,573戸、床下浸水5,084戸
平成 7年 5月	梅雨前線	床下浸水7戸、田畑埋没流出878ha

※出典：洪水志、滋賀県災害誌、兵庫県水害誌、淀川・大和川の洪水資料、淀川・大和川の洪水資料(その2)、奈良県気象災害誌、奈良県の気象百年、伊勢湾台風調査、第二室戸台風災害誌、7220号台風災害の概要、近畿水害写真集、朝日新聞・毎日新聞・神戸新聞・他

○昭和28年台風13号の被害



宇治川の氾濫の様子(京都府久世郡久御山町付近)

○平成7年5月梅雨前線の被害



琵琶湖沿岸の浸水被害(滋賀県東近江市付近)

洪水調節機能の強化

放流能力を増強し、ダム治水容量をより効率的に活用することで、天ヶ瀬ダムの洪水調節機能を強化します。

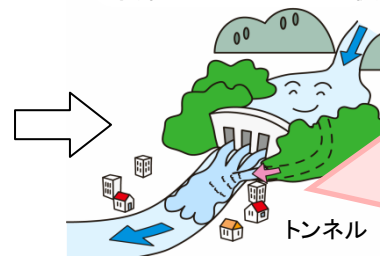
下流に対する効果

○水路トンネルができるまで



天ヶ瀬ダムの放流能力が小さく、また下流河道の流下能力も小さいため、ある規模以上の大雨が降ると、洪水をダムに貯めることができなくなります。

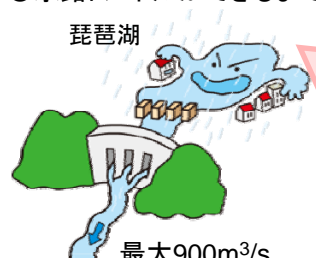
○水路トンネルができた後



下流河道の流下能力向上とあわせて、天ヶ瀬ダムからの放流量を安全に増加させることで、洪水時の貯水容量を効率的に活用できるようになり、宇治川や淀川本川への洪水調節機能が強化されます。

琵琶湖周辺に対する効果

○水路トンネルができるまで



天ヶ瀬ダムの放流能力が小さく、琵琶湖の水位低下に時間がかかってしまいます。このため大雨の場合、琵琶湖周辺の洪水被害の可能性がります。

最大900m³/s

○水路トンネルができた後

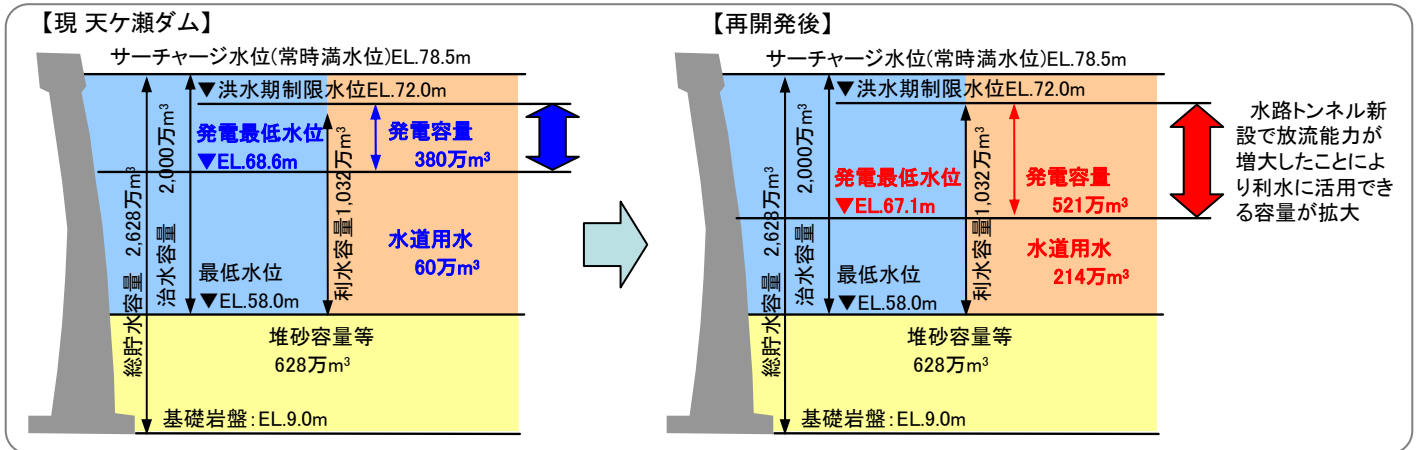


天ヶ瀬ダムの放流能力が増加するため、琵琶湖の水位を速やかに低下できます。これにより、大雨の場合琵琶湖周辺の洪水被害軽減が図られます。

最大1,500m³/s

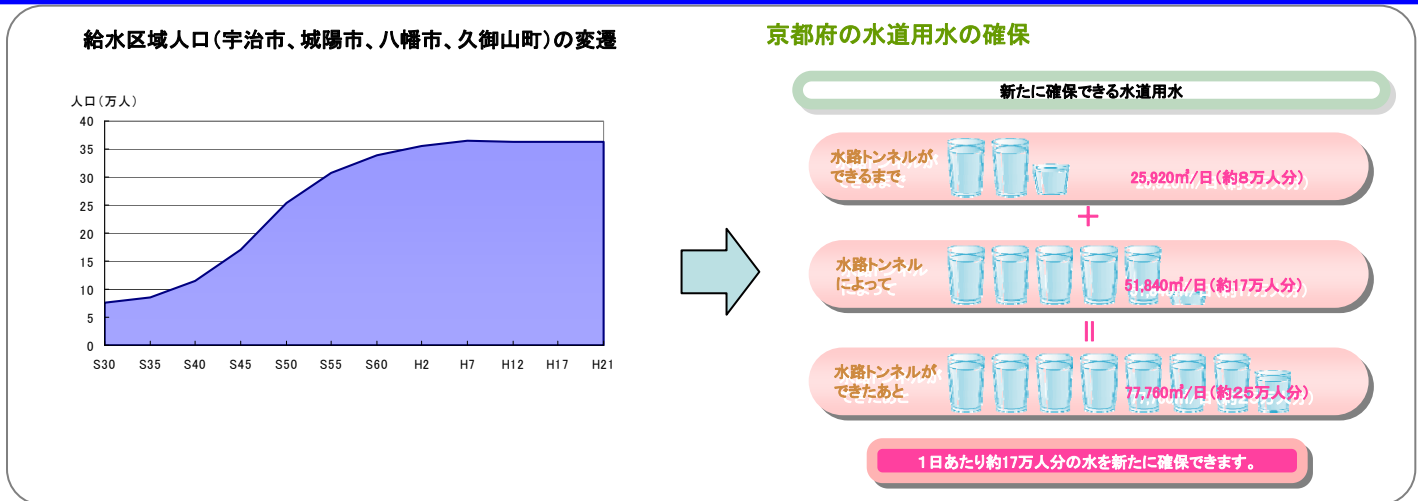
貯水池運用の効率化

天ヶ瀬ダム再開発事業によって、より効率的な貯水池運用を図ることができ、治水だけでなく利水に活用できる容量が拡大します。



京都府の水道用水の確保

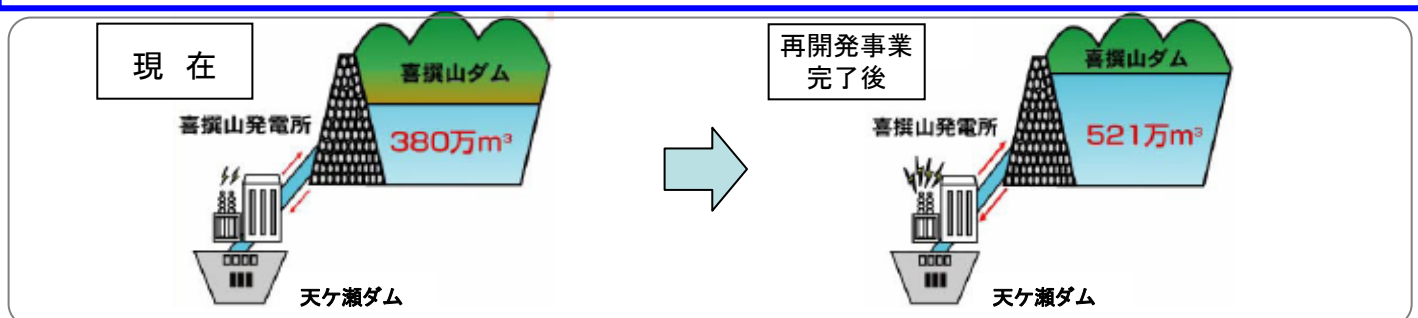
天ヶ瀬ダム再開発事業による貯水池運用の効率化により、洪水対策や発電に影響を与えることなく、より多くの水道用水を取水できるようになり、1日あたり51,840^m³の水（約17万人分）を新たに安定的に供給することができます。



発電能力の増強

天ヶ瀬ダムでは揚水発電を行っており、天ヶ瀬ダム再開発事業によって、洪水のおこりやすい夏場の期間にも、揚水発電を行っている喜撰山ダムにより多くの水を送ることができます。

これにより、喜撰山ダムでは一年中安定した電力を作れるようになり、新たに110MW(110,000KW)の電力の供給が可能となります。



天ヶ瀬ダム再開発事業起工式

○日時：平成25年6月16日(日) 10時00分から11時00分まで

○場所：京都府宇治市宇冶金井戸地先(天ヶ瀬ダム再開発事業トンネル式放流設備ゲート室部予定地付近)
(別紙参照)

○主催：国土交通省 近畿地方整備局

○タイムスケジュール(予定)：

9:30 受付開始

10:00 開式

10:50 ^{くわ}鍬入れ式

11:00 閉式

○取材についてのお願い

取材にあられる報道関係者は、次のとおり、式の円滑な進行にご協力くださいますよう、お願いいたします。

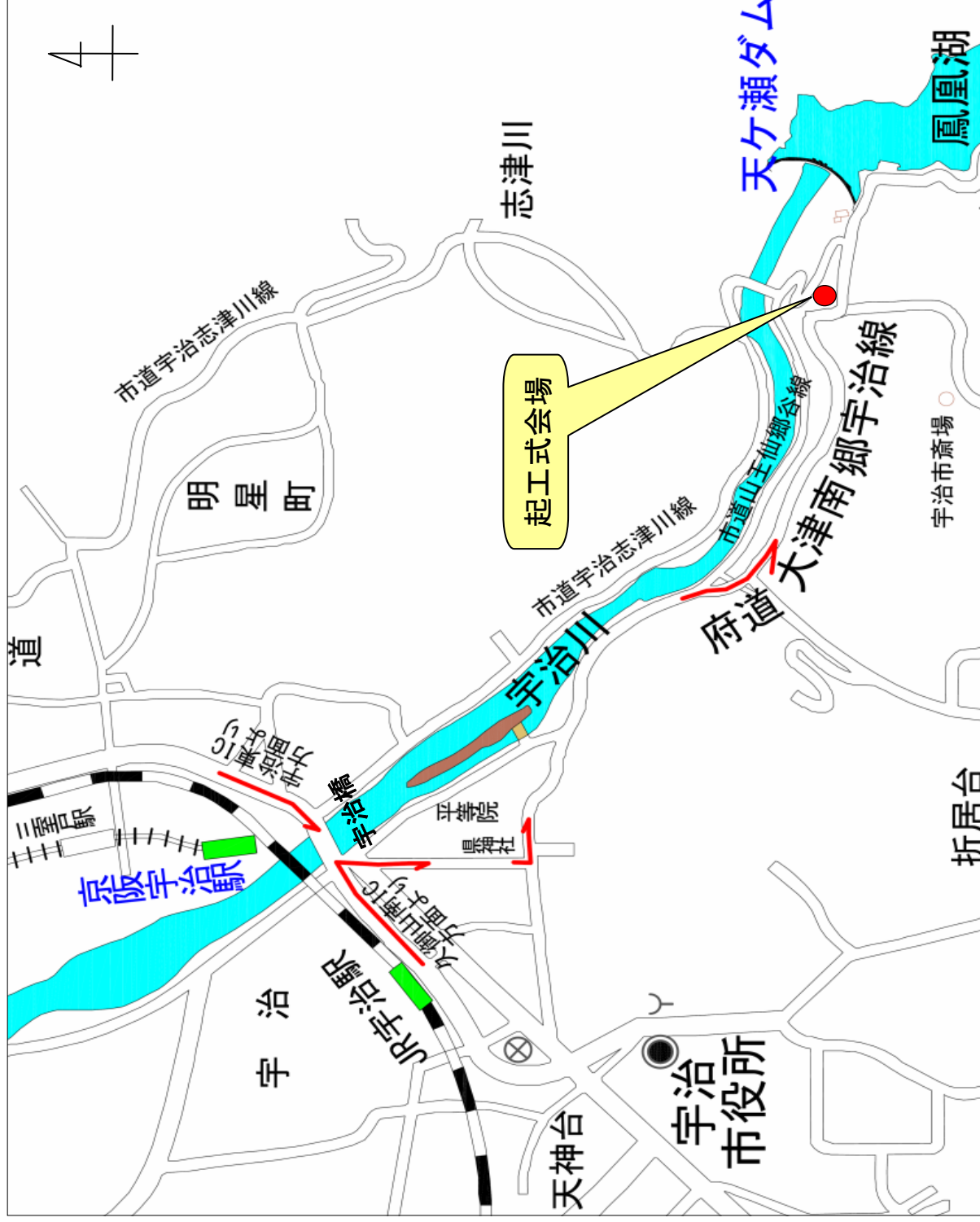
【事前登録】

- ・取材を希望される方は、6月11日(火)迄に、必ず、別添のFAX申し込みによる事前登録をお願いいたします。

【その他】

- ・当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。
- ・式典遂行上の都合により、時間が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

天ヶ瀬ダム再開発事業 起工式 会場等案内図



<アクセス>

(自動車の場合)

- ・宇治市役所から宇治橋西詰を右折、府道大津南郷宇治線を東に約2.9km
- ・宇治東ICから宇治橋西詰を左折、府道大津南郷宇治線を東に約2.9km

(電車の場合)

- ・京阪宇治駅より起工式会場行のマイクロバスにご乗車下さい。
〔1便 9時15分、2便 9時25分〕

※9時30分より受付を開始いたします。現地取材は、起工式会場にて受付を済ませた後にお願いします。

※報道関係者用の駐車場を用意していますが、駐車スペースの関係上、乗り合いでのご来場をお願いいたします。

※起工式については、招待者を含む関係者にて執り行います。起工式の模様については後日HPIにて報告します。

取材 FAX 申込書

琵琶湖河川事務所 総務課 起工式担当 宛

FAX番号 : 077-546-5759

貴社名	
参加人数	
ご担当者氏名	氏名 所属部署名等
ご連絡先	住所 〒 電話番号 () FAX番号 () E-mail
駐車券の送付先 連絡先と同じ場合は無記入で結構です。	住所 〒 電話番号 ()
車両ナンバー	

※駐車場のスペースに限りがありますので、乗り合いでの来場にご協力をお願いします。

※当日迄に駐車券を送付する予定です。

当日は、必ずフロントガラスから見える位置に駐車券を置いてご来場下さい。

※当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 総務課

TEL 077-546-0844(代表)

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。【6月11日(火)締め切り】